

前提条件など、登録時に注意を要する科目一覧

作成日：2018年2月14日
最終更新日：2019年3月21日

1. 専門基礎科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	基礎数学 1・2クラス(安原 晃 先生)	数学受験者用クラスのため、他のクラスより内容の多い講義となっております。この点を加味した上で、希望者は履修するようにしてください。
	ミクロ経済学	「基礎経済学」修得者のみ登録可。
	マクロ経済学	
II	国際貿易論	「貿易論」(～2013) 修得済の者は登録不可。

2. 専門教育科目

群	科目	登録条件・注意事項
I	簿記 I	「基礎会計学」修得者、または「日商簿記検定3級」程度の知識を有する者のみ登録可。 上記の者であっても「簿記原理」(～2008) または「上級簿記」(～2009) 修得済みの場合は登録不可。
II	簿記 II	「簿記 I」 もしくは「上級簿記」修得者、または「日商簿記検定2級」程度の知識を有する者のみ登録可。
	回帰分析初級 A	「回帰分析」 もしくは「回帰分析 II」 修得済の者は登録不可。
	回帰分析初級 B	「回帰分析」 もしくは「回帰分析 II」 修得済の者は登録不可。
	回帰分析中級	回帰分析初級 A」 もしくは「回帰分析初級 B」 修得者のみ登録可。
	民法(総論) I	「(旧) 民法 I」 修得済の者は登録不可。
	民法(総論) II	「(旧) 民法 II」 修得済の者は登録不可。 「民法(総論) I」 修得者のみ登録可。
	総合商社ビジネス論	政経科目「総合講座(現代総合商社論)」修得済みの者は登録不可。
	ビジネスアイデア・デザイン(BID) I	「BID(ビジネス・アイデア・デザイン) 新しい価値を生み出す技術」(～2017) ※GEC 設置科目 を修得済の者は登録不可。
	実践・起業インターン(REAL)	Web 履修申請不可。 ※起業の技術(12 Essentials) を単位修得し、選考に合格した者のみ自動登録。
	数理統計学 I、数理統計学 II	数理統計学(～2014) を修得済の者は登録不可。
	中国社会と企業	「中国社会と企業」(2014) 修得済の者は登録不可。
	中国社会と文化	「中国社会と文化」(2014) 修得済の者は登録不可。
III	財務諸表分析論	「経営分析論」(～2012) 修得済の者は登録不可。
	企業価値評価論	「財務管理論」(～2012) 修得済の者は登録不可。
	国際マーケティングマネジメント論	「国際マーケティング論」(～2013) 修得済の者は登録不可。
	経済統計 I	「経済統計」(～2014) 修得済の者は登録不可。
	経済統計 II	
	産業組織論	「基礎数学」修得者のみ登録可。
	民法(物権法) I	「(旧) 民法 I」、「(旧) 民法 II」、「(旧) 民法(総論) II」、「民

	民法（債権法総論）Ⅰ	法（総論）Ⅰ」、「民法（総論）Ⅱ」のうちいずれか1科目以上修得している者のみ登録可。
	民法（債権法総論）Ⅱ	「(旧) 民法Ⅲ（債権総論Ⅱ）」修得済の者は登録不可。 「民法（債権法総論）Ⅰ」修得者のみ登録可。
	労働法Ⅰ	「雇用関係法Ⅰ」（法学部設置） 修得済の者は登録不可。
	労働法Ⅱ	「雇用関係法Ⅱ」（法学部設置） 修得済の者は登録不可。
	Behavioral Strategy	「Strategy, Policy, and Planning」もしくは「経営戦略」修得者のみ登録可。
	Environmental Management and Strategy	「Strategy, Policy, and Planning」もしくは「経営戦略」修得者のみ登録可。
	Leadership in Asian Culture	「Organizational Behavior」修得済の者は登録不可。
	The Japanese Economy	ABS プログラム参加者必修科目となりますが、本プログラムを登録していない場合も登録できます。
	Japanese Business (ABS プログラム)	ABS プログラム参加者以外は登録できません。
	グローバル会計入門	全学副専攻「会計学」対象科目のため、商学部生は登録不可
	会計・監査の最新実務	全学副専攻「会計学」対象科目のため、商学部生は登録不可
—	寄附講座等系統科目全て	2010 年度以降入学者は、当該科目は 8 単位まで しか、卒業算入科目として登録できません。登録時に超える見込みがある場合は登録エラーとなります。

3. 総合教育科目

群	科目	登録条件・注意事項
Ⅰ	哲学の歴史 A / B	「哲学の歴史」（～2017）修得済の者は登録不可。
	比較宗教 A / B	「比較宗教」（～2017）修得済の者は登録不可。
	現代の哲学 A / B	「現代の哲学」（～2017）修得済の者は登録不可。
	人間と自然 A / B	「人間と自然」（～2017）修得済の者は登録不可。
	現代倫理学の諸問題 A / B	「現代倫理学の諸問題」（～2017）修得済の者は登録不可。
	民族と宗教 A / B	「民族と宗教」（～2017）修得済の者は登録不可。
	社会学の視点 A / B	「社会学の視点」（～2017）修得済の者は登録不可。
	心理学 A / B	「心理学」（～2014）修得済の者は登録不可。
	中国の経済と社会 A / B	「中国社会の探求」（～2017）修得済みの者は登録不可。
	中国社会とビジネス A / B	「中国社会と社会システム」（～2013）修得済の者は登録不可。
	総合教育科目演習（プロゼミ）全て	プロゼミ A（春学期）履修者は、科目登録最終結果発表時に同一のプロゼミ B（秋学期）が自動登録されます。プロゼミ B が、自動登録科目（外国語、ゼミ等）の時間割と重複した場合は、プロゼミ A のみの履修となり、プロゼミ B は登録されません。また、一部のゼミは Web 申請を行わず、選考面接に合格した者のみ登録可となります（選考面接の詳細は商学部 HP 参照）。 なお、プロゼミ A が不合格となった場合、自動登録されたプロゼミ B は、春学期成績発表後に取消となります。
	総合教育科目演習（プロゼミ）B	一部のプロゼミ B については、プロゼミ B から登録することが可能です。登録可能な科目については商学部 HP の科目登録関連情報『専門教育演習（プロゼミ）B 追加募集について』をご確認ください。

4. 外国語科目

群	科目	登録条件・注意事項
Ⅱ	ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現（書く・話す）	「ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現」（～2013）修得済の者は登録不可。
	ドイツ語Ⅱ選択 A/B 表現（聞く・話す）	「ドイツ語Ⅱ選択 A/B 初級会話」（～2013）修得済の者は登録不可。
	ドイツ語コミュニケーション A/B	「ドイツ語会話中級 A/B」（～2013）修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 読解（文学・芸術）	「フランス語Ⅱ選択 A/B 読解（文化・文学）」（～2013）修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 口頭表現	「フランス語Ⅱ選択 A/B 初級会話」（～2013）修得済の者は登録不可。
	フランス語コミュニケーション A/B	「フランス語会話中級 A/B」（～2013）修得済の者は登録不可。
	時事フランス語 A/B	「現代のフランス A/B」（～2013）修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現（書く・話す）	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 口頭表現」（～2013）修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現（読む・話す）	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 読解」（～2013）修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B 表現（聞く・話す）	「スペイン語Ⅱ選択 A/B 聴解」（～2013）修得済の者は登録不可。
	スペイン語Ⅱ選択 A/B スペイン語圏の文化と言葉	「スペイン語圏の文化と言葉 A/B」（～2017）修得済の者は登録不可。
	スペイン語コミュニケーション A/B	「スペイン語会話とコミュニケーション A/B」（2013）修得済の者は登録不可。
	時事スペイン語	「時事スペイン語 A/B」（～2017）修得済みの者は登録不可。
	総合スペイン語	「スペイン語総復習 A/B」（～2013）もしくは「総合スペイン語 A/B」（～2017）修得済の者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 表現全般（話す・聞く・書く）	「フランス語Ⅱ選択 A/B 表現」（～2018）修得済みの者は登録不可。
	フランス語Ⅱ選択 A/B 口頭表現（会話）	「フランス語Ⅱ選択 A/B 口頭表現」（～2018）修得済みの者は登録不可。
	中国語コミュニケーション A/B	「中国語のコミュニケーション A/B」（～2013）「中国語会話 A/B」（～2013）修得済の者は登録不可。
	中国語ビジネス研修 1	科目に関する詳細は以下 URL をご覧ください。 https://waseda.box.com/s/qlitidst8u83n6o9sbpldbk4wn2g8tok

[2013 年度以前入学者（2015 年度入学の 3 年次編入者・転部者・学士入学者・ダブルディグリー者含む）]

群	科目	登録条件・注意事項
Ⅱ	留学のための Academic Reading 留学のための Academic Listening	Ⅱ 群科目ですが、1 年次から履修可能です。 科目申請時に、科目群「外国語 Ⅱ（英語）」から科目を選択してください。
	英語Ⅱ（習熟度別）上級 選択科目 科目全て	英語統一試験による基準に従ってクラスを選択してください。任意登録なので間違ってもエラーにはなりません。
	英語Ⅱ（習熟度別）中級 選択科目 科目全て	英語統一試験による基準に従ってクラスを選択してください。任意登録なので間違ってもエラーにはなりません。
	中国語Ⅱ 選択科目全て	2013 年度より科目の再編が行われました。2011 年度まで設置していた科目との互換性はなく、全て異なる科目内容ですので、どの科目でも中国語Ⅰを 2 単位以上修得していれば登録は可能です。
Ⅲ	総合・学際群 国際系科目 （Ⅱ 群科目も含む）	授業が全て外国語で行われる科目があります。 スコア条件等はないので、間違ってもエラーにはなりません。 使用言語等の詳細は、web シラバスを確認してください。
	専門英語講読 A	専門英語講読 A は同じ科目を重複して履修することができます。 （前年度に「専門英語講読 A」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 A」を履修することができます） ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
	専門英語講読 B	専門英語講読 B は同じ科目を重複して履修することができます。 （前年度に「専門英語講読 B」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 B」を履修することができます） ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。

[2014 年度以降入学者（2015 年度入学の 3 年次編入者・転部者・学士入学者・ダブルディグリー者除く）]

群	科目	登録条件・注意事項
I	英語 I ビジネス英会話	ビジネス英会話 B は、原則として同科目 A を一度以上履修していることが登録の条件です。 「General Tutorial English」が不合格となった場合、 次年度 以降に自身で登録し、英語 I の単位として算入することができます。
II	留学のための Academic Reading 留学のための Academic Listening	II 群科目ですが、1 年次から履修可能です。 科目申請時に、科目群「外国語 II 選択（英語共通）」から科目を選択してください。
	英語以外の外国語 II 選択科目（上級レベル）	「外国語 II 必修（1 単位）」および「外国語 II 選択（中級レベル）（2 単位）」修得者のみ、次学期以降登録可。
	英語 II（習熟度別）上級 選択科目 科目全て	英語統一試験による基準で、上級スコア取得者が対象。準上級クラスの方も当該科目を履修することができます。
	英語 II（習熟度別）準上級 選択科目 科目全て	英語統一試験による基準で、準上級スコア取得者が対象。中級クラスの方も当該科目を履修することができます（上級クラスの方は履修不可）。
	英語 II（習熟度別）中級 選択科目 科目全て	英語統一試験による基準で、中級スコア取得者が対象。上級クラス・準上級クラスの方は履修できません。
III	外国語専門科目分野 （II 群科目も含む）	授業が全て外国語で行われる科目があります。 スコア条件等はないので、間違っても登録してもエラーにはなりません。 使用言語等の詳細は、web シラバスを確認してください。
III	専門英語講読 A	専門英語講読 A は同じ科目を重複して履修することができます。 （前年度に「専門英語講読 A」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 A」を履修することができます） ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
	専門英語講読 B	専門英語講読 B は同じ科目を重複して履修することができます。 （前年度に「専門英語講読 B」の単位を修得していた場合も、再度「専門英語講読 B」を履修することができます） ただし、担当教員が同じクラスを重複して履修することはできません。
—	General Tutorial English $\alpha \cdot \beta$ （General Tutorial English Beginners 含む）	科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、英語 I の単位として算入することができます。 ※再履修者専用科目「英語 I ビジネス英会話」を含めて、合計 2 単位まで英語 I の単位に算入することができます。上限を超えた単位は「共通選択科目」として認定されます。 ※英語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、英語 I の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。
—	朝鮮語科目（全学オープン科目）	全学オープン科目履修ガイド P.68「2018 年度 朝鮮語 全学オープン科目マップ」に記載されている全学オープン科目（GEC 設置科目のみ）については、科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、朝鮮語 II 選択の単位として算入することができます。 ※朝鮮語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、朝鮮語 II 選択の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。
—	日本語科目（日本語センター設置科目）	科目登録時に、科目区分「外国語」を選択した場合、外国語の単位として算入することができます。 ※日本語選択者以外は、「外国語」として算入することはできません。 ※科目系列を「他箇所」または「自由科目（他箇所・他機関）」を選択した場合は、外国語の単位には算入されませんので、申請時には科目区分を確認してください。

以上